## 看護サマリー(在宅用)

記載例

	ら 〇〇地域包括文援センター 										作成日 平成29年3月15日						
ふりがな			ならな	郎		性別 生年月日 年齢					年齢	入院期間					
氏名		2	糸良 オ	<b>、</b> 郎			s 17	年 6	月	4 <b>日</b>		H28	.3,15	~ }	129,3,15		
住所					档	原市四条町000				•	アレル 食品	アレルギー     内容       食品     有     卵					
同居者の有無	有	有 同居者名			Ž	糸良 名さ	良 老子		続柄		<b>基</b>	薬品	有	ピリン系投与で発疹			
TEL		0744-25-0000			キーパーソン 長男			男		その他有		<b>尧粉症</b>					
緊急 連絡先	① 奈良一郎					続柄	売柄 自宅 0744-00-0000					感染症	有	有 HBウイルス、HIV			
						長男 携帯			090-000	0-0000		飲酒	每日	ビール500ml×3本			
	<u> </u>	② 大和 和美					自宅	(	743-000	00-000		喫煙	有	20	本/日		
	2	j	<b>大和</b> 7	P美		長女	携帯		080-000	0-0000		身長	168	cm 体重	60 kg		
社会資源	介護	認定の有	無	判	定		障害	者手帳	尝	判定		利用事	<b>美所名</b>	•	•		
診断名			左側急	性硬膜下	- 血腫过	益		既往歴				高血圧、アルコール性肝炎					
入院中の 経過 (看護経過)	は見り	0月7日上記にて周頭結集除去街施行後リハビリ目的にて当院転院。理学療法士により、車いす移乗 は見守りで行えるようになり、ADLは拡大し、転倒転落の予防に努めた。言語聴覚士とどもに誤嚥性肺炎 の予防に努め、患者、家人に口腔ケアの必要性を説明し指導した。現在はできている。 自宅での生活を希望している															
残された 問題	・誤嚥性肺炎のリスク													宅生活を希望して	いる		
生活自立度	ш	J 1				A:		B 1	B		C 1	C 2					
認知症自立度	ì	無 . 見守り	I 一部介則	全介助	I a	II b	) [	IIIa			IV /在空 <sup>-</sup>	の留音占					
_		. ). ,	נעי וליום	1 X / 1/9/	病棟での様子/在宅での留意点   嚥下状態   □良 □ 不良 咀嚼状況 □良 □ 不良 注意障害   □有 □無												
食事	0	C	0	<b>©</b>	畐	E食	普通 普通 奢	□ 軟飯 □ 軟菜 □ スプー:			□ 重湯 □ ペースト □ 経管第	<u> </u>					
口腔清潔	0	0	©	0	_	制限 □無 ● 有 ( 内容: □ 塩分 □ 水分 □ その他( ) 養歯 □ なし □上 □下 □ 全部 ● 部分 自己管理 □ 可 ● 不可									)		
移動		0	•	0		「手引き □ 杖 □ 歩行器 🗹 車椅子 □ シルバーカー □ ストレッチャー □ 装具・補装具 - その他(									)		
起居	0				キュー・・						<b>住か</b> たの						
入浴 (洗身)	0	O	•	О			不可	□ 行って( <b>〕有</b> ( 「	ハない	留意点				来る範囲は自力で			
更衣		0	•	0													
排泄		C	•	C		ムツ 「	-タブルトイ 常時 <b>▽</b> 1日i	□ 夜間の		R道留置が リハビリ		□ 失禁	· <u></u>	下剤使用 反間のみ 最終	浣腸 排便 /		
服薬管理			・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	0		回配薬	<u> </u>		住	宅改修	○ 本亜	●要	( 内容:	きすり、	スロープ )		
睡眠	睡眼	民時間			6時1			その <sup>.</sup>	福	祉用具	〇 不要		( 内容:	車柱			
意思疎通	4∓・	<b>可</b> (C) 神状態(疾	不可 鬼〉 ***	( Tabor = ==	n +	/			\ ! =		¬ ∧ =++	D#11+ =	# — ·	₩ <b></b>	) [/a/B /ar+		
認知• 精神面		神仏忠(疾 を変・ を変を転「			】有 妄想	□ 暴力「	□ その他	ь (		1月F1凹	」が護へ	の抵抗 🌅	<b>無深"个</b> 権	景□ 攻撃性 □	」幻視·幻聴 ) )		
		バビリテーシ	•		有	2 回/退			サマリー	- 参盟)	運動#	訓限 🕑 無	自自	 (内容·	)		
リハビリ等	麻:		L~	右上肢			☑、アラロー・ ☑ 右下肢		 下肢	「 □ その他	i				中保護 \		
	麻痺 □ なし ▽ 右上肢 □ 左上肢 ▽ 右下肢 □ 左下肢 □ その他( 右下 根 装 具 着 用、右上 根 三 角 中 保 護 ) 拘縮 □ なし □ 肩関節 □ 肘関節 □ 股関節 □ 膝関節 □ その他( )														, m & /		
		「神経   「神											<u> </u>				
必要な 医療処置	□复	□気管カニューレ□人工呼吸器□腎瘻・尿管皮膚瘻内・										内服は简易懸濁(とろみ剤にて服用 服薬介助を妻に指導・実施(ている					
介護情報	□ストーマ □自己導尿 □疼痛管理 ▽服薬 □ <b>一人暮らし</b> • 同居 □ 家族の支援体制 □ 無 • 有 □ 退院指 家族が実施するケア状況 □ トイレ 介 め、身 の 回 り の 世 話 □ 基 に 服 薬										こ服薬介	介助、管理を指導					
	7J. IJ.		J , , , , ,				. 471	/·/ == \$6	•								
施設名	県立	なら病院	Ė									記載者		橿原 文代			
仏は上司												責任者 奈良大 花子					
					署名	!					<u></u> 本	人・ 本人との続柄					